



桃一通信

No. 6 6 7

桃井第一小学校
(3390)3178(代)

令和4年 8・9月号



困ったときに「助けて」と言ってもらえるか

校長 高橋 浩平

2学期が始まりました。7月にはコロナによる学級閉鎖もあり、残念ながら桃一まつりは中止となりました。7月中の水泳指導、図書館開放等も中止とさせていただきます。8月に予定していた夏季パワーアップ教室、延期したお話アンサンブルは予定通り実施することができました。ご家庭のご協力に感謝申し上げます。2学期も引き続きコロナ感染防止に留意しながら教育活動を進めていきたいと思ひます。

さて、この夏、都の研修で、オンラインで小児神経科のお医者さんのお話を聞いたのですが、非常に印象に残ったのが「自尊心を育てる」という話でした。そのために、

- ・ほめる、認めることを大切に

できたことより努力する姿勢をほめる。／簡単なこと、小さなことから挑戦させ、達成感をもたせる（できなくてもあきらめない）／目に見える形でほめる。

- ・困ったときに「助けて」と言えるように

「わからない」「教えて」等と言える関係作り／どんな聞き方・頼み方をすればよいのかを身に付ける。

という説明がありました。講師の先生は、子どもが「困ったときに『助けて』と言えるように」させておきたい、という趣旨でお話しをしていたのだと思ひますが、私は、これを聞きながら、「大人は子どもが困ったときに「助けて」と言ってもらえるような存在・関係になっているのか」ということを思ひました。

日々子どもたちと話していると「こんなこと言っても大人はとりあってくれない」「いや別にいい」といった対応を見ることがあります。子どもの側からすると「どうせ何を言っても無駄だ」と思われているんでしょうね。これは考えてみると結構大きな問題だと思ひています。

私たち教員は（保護者の皆さんも同じでしょうが）「何かあったらいつでも相談してね」と言っている訳です。でも子どもが「無駄だから」と思っていたら相談なんてこないですよ。でも「困ったときに「助けて」と言ってもらえる関係になっていないといけないと思ひます。ではどうしたらそういう関係を作れるのか、これは一朝一夕にできるわけではないでしょう。日々の何気ない会話、やりとりをしているのか、あいさつはどうか、そんな中で子どもに「信用してもらえるか」、平たく言えば、信頼感、信用感をもってもらえるかどうか、ということだと思います。何気ないちょっとした時間のかかわりを大事にするということも大事なかなと思ひます。

2学期は一年間の中で一番長い学期です。モモリンピックなど大きな行事もありますが、関係性の構築、という点において、日々の日常的な教育活動も大切にしていきたいと思ひています。2学期もどうぞよろしくお願いしします。

学校ニュース

小校庭の芝生の養生期間が終了しました。授業や校庭開放で小校庭の利用を再開します。



9月の生活目標「時間を守ろう」

生活指導部だより

夏休みも終わり、いよいよ二学期が始まります。子供たちの元気な声が戻ってきました。

さて、8・9月の生活目標は、「時間を守ろう」です。ゆとりある登校や授業が始まる前の着席、掃除の開始・終了時刻の遵守、ということを目指して時間を意識できるよう支援していきます。

夏休みのゆったりした生活から、時間を意識しながら行動する学校生活へと、生活リズムが整うように、ご家庭でも声かけをお願いいたします。



子供の見守りと心のケアについて

いじめ対策委員会より

夏休みなどの長期の休業明けには18歳以下の自殺が増える傾向があります。令和3年度における児童・生徒の自殺の原因・動機の主な傾向として、「病気の悩み・影響（その他の精神疾患）」が最も多く、次いで「学業不振」、「親子関係の不和」、「病気の悩み・影響（うつ病）」、「その他進路に関する悩み」という順になっています。

また、6月にはふれあい月間を通して、いじめに関するアンケートの実施や思いやりや命に関する授業を行い、いじめの早期発見や防止に取り組みました。

少しでも気になる様子が感じられる児童については、学校では管理職をはじめ教職員間で情報を共有し、必要に応じてスクールカウンセラーによる面接を行うなど、早期支援を実施します。また、保護者や医療機関とも連携して「ケアからキュア（専門的治療）につなぐ」ことをキーワードに取り組んでいます。

ご家庭でもお子さんの様子を見ていただき、気になることがありましたら、学校までご連絡ください。



引き渡し訓練について

夏休み前にお知らせしましたが、下記の日程で引き渡し訓練を行います。ご確認よろしく願います。また、9月1日の防災の日に合わせて、今週は防災週間となります。この夏も各地で大雨などの被害がありました。これを機に、今一度、防災についてご家庭でも考えていただければと思います。

【日にち】 令和4年9月2日（金）

【予定】 14:20 警戒宣言発令 児童下校準備開始。引き取り人は、校庭に集合。
14:40 放送の合図で校舎内に入る。
14:48 学校長から、児童および引き取り人への話
14:50 引き渡し開始

※7月にお渡しした「引き渡し訓練について」のお便りには、14:30に放送で校舎内に入ると書いてありますが、正しくは14:40になります。申し訳ございません。



からだ力の取り組みについて

研究部

桃一小では今年度も、引き続き「からだ力」の向上に向け色々な取り組みを行っていきます。「からだ力」とは、心身ともに健やかに成長し、楽しく明るい生活を送るために必要な力のことで、運動能力だけでなく、運動の日常化・望ましい食生活・生活習慣について考え行動する総合的な力のことです。

子供たちが、自分の健康や食生活に関心をもち、望ましい運動習慣と生活習慣を身に付けられるように、食育・運動・生活習慣に関する授業を各学年で行っていきます。

また、長なわやマラソン、からだ力ブックの活用による歩数調査等の日常的な取組は継続して行っています。引き続き、ご理解とご協力をお願いします。



食育に関する取り組みについて

食育推進委員会

本校では、学校経営の4つの柱のうちの一つである、「からだ力」の向上のための取り組みの一環として、「食育」の充実を図っています。食育を通して、自分の健康や食事について考え、よりよい行動をしようとするところのできる児童を育てたいと考えています。

食育の取り組みとして、毎日の給食時間に給食通信「ばくばく」を発行しています。当日の献立内容から、料理の紹介や、旬の食べ物・地場産物の紹介、また、行事食や郷土料理の紹介、食事のマナーについてなど、子供たちに給食から食べ物に関心をもってもらいたいという思いで様々なテーマを取り上げています。

また、以下の表のような内容で学年に応じた指導時期に合わせて食に関する指導を実施予定です。実物を用いたり実践を取り入れたりしながら、自分の食生活に生かすことができる内容になるよう工夫しています。

さらに、給食委員会では、自分たちで郷土料理や世界の料理、食品ロスなど、興味関心のある内容について調べ、全校児童に伝えるために発表したり、桃一小の給食に取り入れるために献立を考えたりする活動も行っています。今回紹介した内容以外にも、様々な科目の授業や学校生活の中に「食」と関わる場面があります。ご家庭でも、学校の給食を話題にしたり、ご家庭での食事の準備や片づけのお手伝いをしたりなど、身近なところから「食」について考えてみていただければ幸いです。

学年	食に関する指導の内容
1年生	おはし名人になろう
2年生	食べ物の「ひみつ」を探ろう
3年生	大豆はかせになろう
4年生	旬の食べ物について考えよう
5年生	かむことのよさを考えよう
6年生	桃一ランチを考えよう

